

ウエスタン・アセット・オブショア・ファンド・シリーズ

WAバンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型)

ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託

 ブラジルレアルクラス  米ドルクラス  円クラス  豪ドルクラス

交付運用報告書

作成対象期間

第12期(2024年4月1日～2025年3月31日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、ウエスタン・アセット・オブショア・ファンド・シリーズ-WA バンクローン・ファンド(マルチ・カレンシー型) (以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第12期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することです。ポートフォリオは分散投資が図られ、全般的なポートフォリオ・リスクを管理しかつ制限することが企図されています。WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型) (以下「マスター・ファンド」といいます。)は、ファンドと一致する投資目的を有しています。

ファンドは、そのすべてまたは実質的にすべての投資に利用可能な資産を(1)マスター・ファンドの受益証券および(2)各通貨クラスのために実施する特定の通貨の為替取引ポジションを組み合わせることで投資します。

当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/products/trust/index.html>)の「外国投資信託運用報告書」にて電磁的方法により提供しております。

クラス	第12期末		第12期中	
	純資産総額	1口当たり純資産価格	騰落率	1口当たり分配金合計
ブラジルレアルクラス	353,951.98米ドル	1.23米ドル	-6.14%	0.36米ドル
米ドルクラス	9,097,135.95米ドル	6.57米ドル	2.90%	0.36米ドル
円クラス	400,747,334円	4,826円	-1.84%	360円
豪ドルクラス	5,027,870.18豪ドル	5.42豪ドル	2.20%	0.36豪ドル

(注1)騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして算出しています。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

管理会社

ウエスタン・アセット・マネジメント・
カンパニー・リミテッド

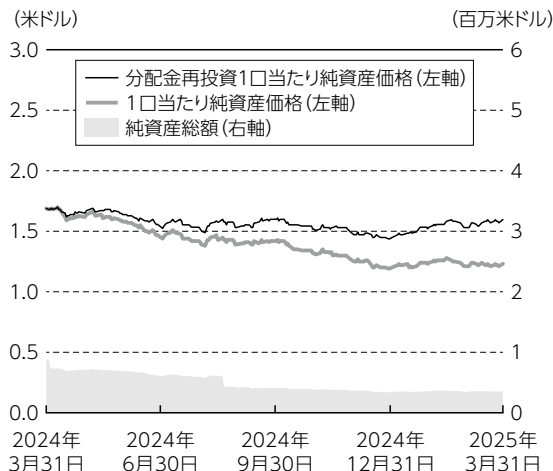
代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

運用経過

■ 当期の純資産価格等の推移

ブラジルリアルクラス



1口当たり純資産価格

第11期末	1.70米ドル
第12期末 (1口当たり分配金額)	1.23米ドル (0.36米ドル)
騰落率	-6.14%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期のブラジルリアルクラスのパフォーマンス(騰落率)はマイナス6.14%(分配金再投資ベース)となりました。期中ブラジルリアルは対米ドルで約12.6%下落しました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

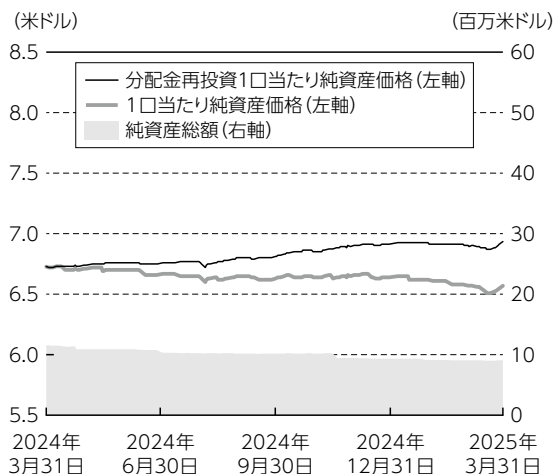
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金をファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドルクラス



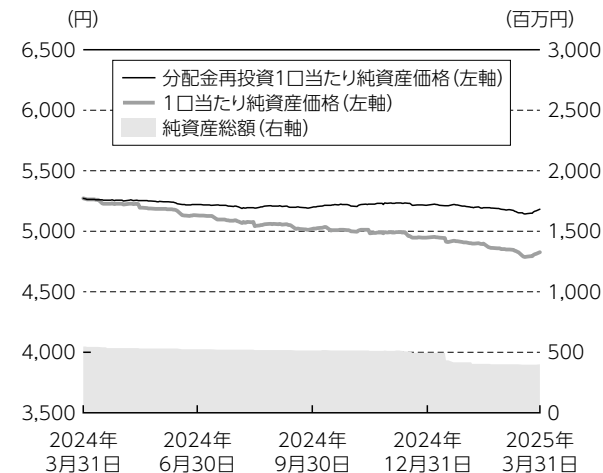
1口当たり純資産価格

第11期末	6.74米ドル
第12期末 (1口当たり分配金額)	6.57米ドル (0.36米ドル)
騰落率	2.90%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期の米ドルクラスのパフォーマンス(騰落率)はプラス2.90%(分配金再投資ベース)となりました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

円クラス



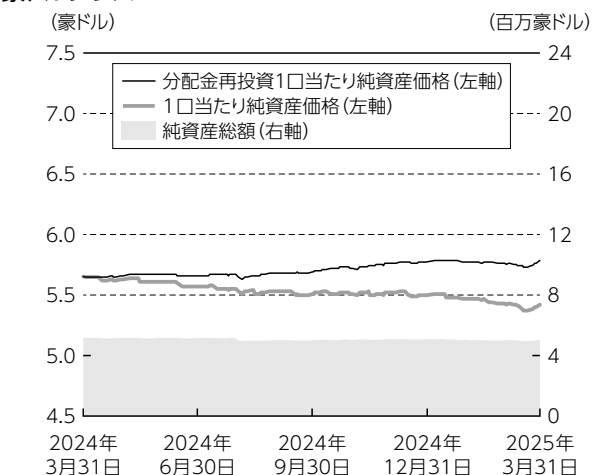
1口当たり純資産価格

第11期末	5,281円
第12期末 (1口当たり分配金額)	4,826円 (360円)
騰落率	-1.84%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期の円クラスのパフォーマンス(騰落率)はマイナス1.84%(分配金再投資ベース)となりました。期中日本円は対米ドルで約1.2%上昇しました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。

豪ドルクラス



1口当たり純資産価格

第11期末	5.66豪ドル
第12期末 (1口当たり分配金額)	5.42豪ドル (0.36豪ドル)
騰落率	2.20%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期の豪ドルクラスのパフォーマンス(騰落率)はプラス2.20%(分配金再投資ベース)となりました。マスター・ファンドの1口当たり純資産価格の主な変動要因については、後記「ポートフォリオについて」をご参照ください。なお、参考となる為替のリターンとして、期中豪ドルは対円で約5.6%下落しました。

※為替レートについては、WM/ロイター・ロンドン午後4時のレートに基づき計算しています。

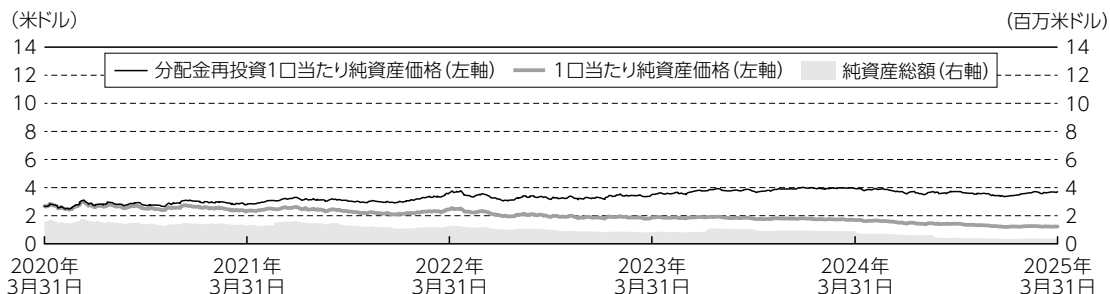
■ 費用の明細

項目	項目の概要	
受託会社報酬	ファンドについて年間7,500米ドルの固定報酬	ファンドの受託業務の対価
管理事務 代行会社報酬	ファンドについて年間10,000米ドル、および当初の3クラスを超えて追加されるクラスごとに、年間10,000米ドル	ファンドの管理事務代行業務の対価
販売会社報酬	ファンドの純資産価額の 年率0.80%	受益証券の日本における販売および買戻しの取扱業務の対価
代行協会員 報酬	ファンドの純資産価額の 年率0.05%	目論見書、決算報告書等の販売会社への送付、受益証券1口当たり純資産価格の公表およびこれらに付随する業務の対価
その他の費用・ 手数料 (当期)	0.40%	専門家報酬、保管報酬、その他

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用・手数料(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。なお、かかる比率の算出においては「その他の費用・手数料(当期)」の「その他」の中に受託会社報酬、管理事務代行会社報酬および代行協会員報酬の金額が含まれています。

■ 最近5年間の純資産価格等の推移

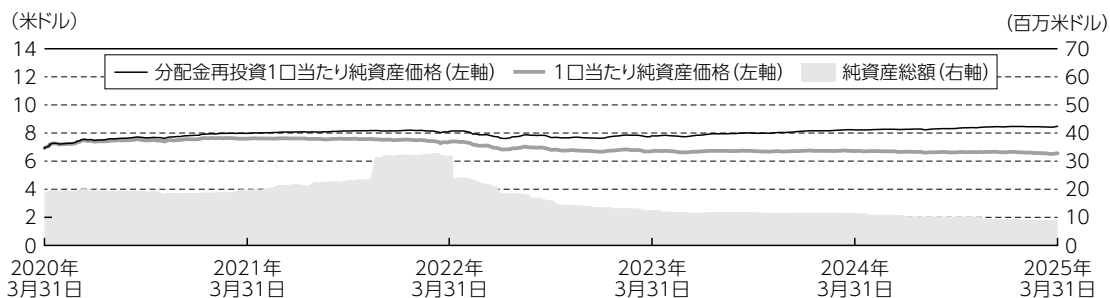
ブラジルリアルクラス



	第7期末 (2020年3月31日)	第8期末 (2021年3月31日)	第9期末 (2022年3月31日)	第10期末 (2023年3月31日)	第11期末 (2024年3月31日)	第12期末 (2025年3月31日)
1口当たり純資産価格(米ドル)	2.68	2.35	2.45	1.87	1.70	1.23
1口当たり分配金合計額(米ドル)	—	0.48	0.48	0.48	0.39	0.36
騰落率(%)	—	5.50	28.16	-3.00	12.59	-6.14
純資産総額(米ドル)	1,622,299.81	1,333,087.84	1,250,638.40	845,735.31	886,941.45	353,951.98

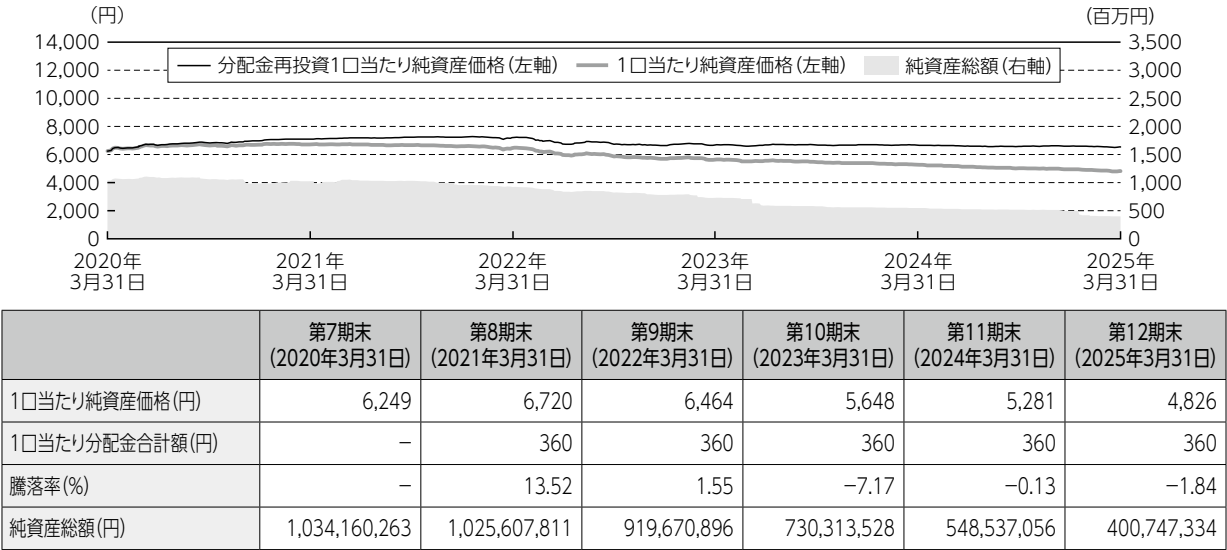
(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末(2020年3月31日)の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。
(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドルクラス

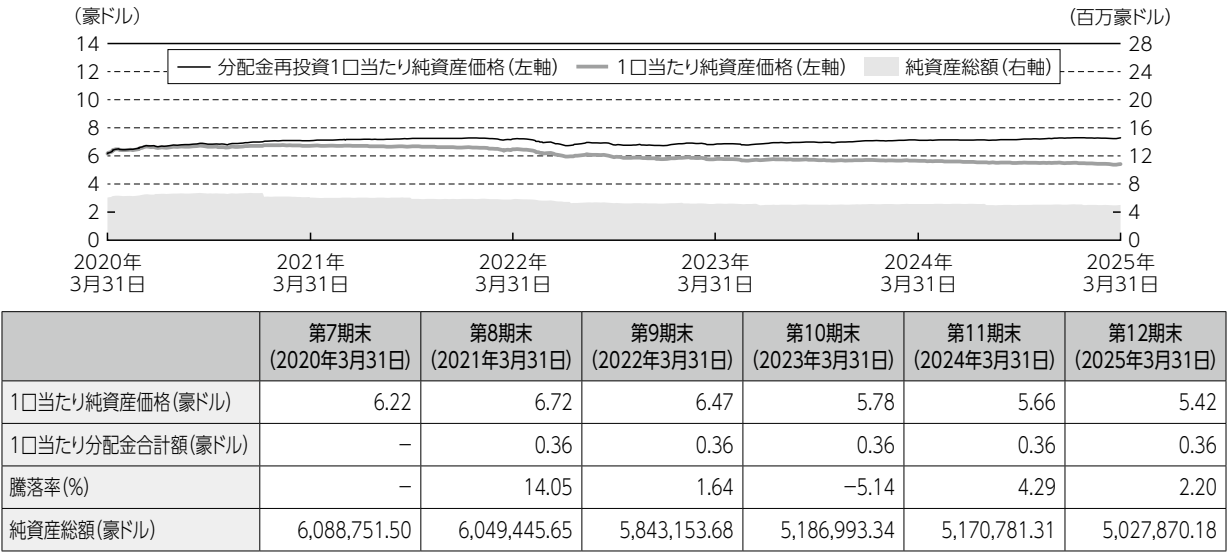


	第7期末 (2020年3月31日)	第8期末 (2021年3月31日)	第9期末 (2022年3月31日)	第10期末 (2023年3月31日)	第11期末 (2024年3月31日)	第12期末 (2025年3月31日)
1口当たり純資産価格(米ドル)	6.98	7.60	7.39	6.72	6.74	6.57
1口当たり分配金合計額(米ドル)	—	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
騰落率(%)	—	14.25	1.99	-4.20	5.82	2.90
純資産総額(米ドル)	19,030,750.96	19,900,756.16	32,058,059.42	12,508,790.09	11,564,384.40	9,097,135.95

円クラス



豪ドルクラス



■ 投資環境について

当期においては世界的に経済成長が鈍化し、デフレ傾向が続く中、多くの先進国の中央銀行が金融緩和策を実施しました。

米国では、個人消費支出(PCE)コア価格指数の上昇率が小幅となり、インフレ率の鈍化を示し、労働市場も需給バランスが改善していることを受けて、米連邦準備制度理事会(FRB)は、2024年10月に2020年3月以来となる50bpsの利下げと11月、12月にそれぞれ25bpsの利下げを行いました。一方、小売売上高、耐久財受注、失業率などの経済指標は景気の底堅さを示しているため、2025年の利下げ回数は市場予想を下回る2回に留まるとの見通しが示されています。米大統領選でトランプ氏が勝利し、議会選でも共和党が上下両院の過半数を制したことから、成長優先政策の期待から米国のリスク資産にとって大きな追い風となりました。

欧州では、製造業購買担当者景気指数(PMI)などの弱い経済指標が軟調な景気見通しを示し、予想値を下回る消費者物価指数(CPI)によるインフレ鈍化を背景に、欧州中央銀行(ECB)は政策金利(中銀預金金利)を継続的に引き下げ、4.50%から2.65%としました。加えて、米国のトランプ政権による関税発動の警告や、フランス・欧州議会などの選挙結果を受けたユーロ圏の主要国の政治的混乱は、景気の見通しに対してさらなる逆風となっています。日本は主要先進国で唯一、中央銀行による引き締め政策を実施しました。

2025年には、米国のトランプ新政権による貿易および外交政策の変更提案により、金融市場は不透明感が高まり、変動が大きい展開となりました。債券のリターンは強弱まちまちとなり、米国国債と多くのエマージング国債のリターンは大きくプラスで、日本国債とユーロ圏の国債のリターンはマイナスとなりました。

米国の今後の政策変更が予測不可能であることから、米国株は不安定な展開となり、米ドルはユーロなどの先進国通貨に対して通貨安が進行しました。米国では、小売売上高、耐久財受注、失業率などの経済指標が、引き続き景気が底堅さを維持していることを示唆しています。ただ、関税やその他の政策変更を巡る不透明感が企業や消費者心理のセンチメントを大きく圧迫しました。景気減速への懸念から、FRBによる追加利下げ観測が高まり、米国債は上昇した一方で、関税によるインフレ懸念や財政政策の変更を巡る不透明感から、イールドカーブはスティープ化しました。一方、欧州では国防支出およびドイツのインフラ支出を中心とした大規模な財政刺激が、ユーロ圏の信頼感と成長を下支えし、関税に関する不透明感の緩和にも寄与すると考えられます。中国では、デフレ圧力が継続しており、不動産市場への懸念から信頼感は低迷していますが、財政刺激および政策緩和により、景況感は徐々に改善しつつあります。こうした不確実性の高まりにより、グローバル経済の成長は減速する見通しですが、プラス成長は維持されるとみられます。

関税や報復措置が実施された場合、一時的にディスインフレ傾向が途切れる可能性はあるものの、長期的には再びインフレ率が低下すると予想されます。金融政策は依然として引き締めのスタンスを維持しており、各国中央銀行は2025年も緩やかな利下げを継続するとみられます。各国の公的債務水準は上昇を続けており、世界的に財政政策への懸念が高まる中、バנקローションを含むスプレッド・セクターは比較的に良好なパフォーマンスが続いており、この傾向は続く予想します。一方、バリュエーションは長期平均と同等か、またはそれを上回る水準で推移しているため、一部のセクターや銘柄に投資妙味があると見ています。

■ ポートフォリオについて

<ファンド>

ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、主としてバンクローンに実質的な投資を行い、長期のトータル・リターンを獲得を目指した運用に努めてまいりました。当期の運用においては、期を通じて、マスター・ファンドの高位組入れを維持しました。

<マスター・ファンド>

当期のマスター・ファンドの債券・ローン部分の参考リターンはプラス7.42%(費用控除前)となり、1口当たり純資産価格は下落となりました。S&P/LSTA パフォーミング・ローン・インデックスで計測される当期のバンクローン市場のリターンはプラス6.95%となりました。

当期においては、リスク資産全般の上昇とバンクローン市場の需給の好環境により、パフォーマンスは総じて上昇基調となり、マスター・ファンドの純資産価格も上昇しました。マスター・ファンドは、B格をアンダーウエイトし、投資適格級のBBB格とBB格への配分も高めに維持し、市場平均よりも高い格付けを維持しました。セクター別では、引き続き金融および資本財セクターをオーバーウエイトしました。景気循環の影響を特に受けやすいセクター(素材、景気循環消費財)についてはアンダーウエイトとし、加えてテクノロジーセクターもアンダーウエイトを継続しました。

■ 分配金について

当期(2024年4月1日～2025年3月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

ブラジルリアルクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2024年4月15日	1.62	0.03 (1.82%)	-0.05
2024年5月15日	1.61	0.03 (1.83%)	0.02
2024年6月18日	1.50	0.03 (1.96%)	-0.08
2024年7月16日	1.48	0.03 (1.99%)	0.01
2024年8月15日	1.43	0.03 (2.05%)	-0.02
2024年9月17日	1.40	0.03 (2.10%)	0.00
2024年10月15日	1.35	0.03 (2.17%)	-0.02
2024年11月15日	1.30	0.03 (2.26%)	-0.02
2024年12月16日	1.22	0.03 (2.40%)	-0.05
2025年1月15日	1.20	0.03 (2.44%)	0.01
2025年2月18日	1.26	0.03 (2.33%)	0.09
2025年3月17日	1.22	0.03 (2.40%)	-0.01

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、各クラスの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3) 2024年4月15日の直前の分配落日(2024年3月15日)における1口当たり純資産価格は、1.70米ドルでした。

米ドルクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2024年4月15日	6.70	0.03 (0.45%)	-0.01
2024年5月15日	6.69	0.03 (0.45%)	0.02
2024年6月18日	6.66	0.03 (0.45%)	0.00
2024年7月16日	6.65	0.03 (0.45%)	0.02
2024年8月15日	6.62	0.03 (0.45%)	0.00
2024年9月17日	6.62	0.03 (0.45%)	0.03
2024年10月15日	6.64	0.03 (0.45%)	0.05
2024年11月15日	6.63	0.03 (0.45%)	0.02
2024年12月16日	6.64	0.03 (0.45%)	0.04
2025年1月15日	6.62	0.03 (0.45%)	0.01
2025年2月18日	6.58	0.03 (0.45%)	-0.01
2025年3月17日	6.52	0.03 (0.46%)	-0.03

(注) 2024年4月15日の直前の分配落日(2024年3月15日)における1口当たり純資産価格は、6.74米ドルでした。

円クラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2024年4月15日	5,231	30 (0.57%)	-34
2024年5月15日	5,195	30 (0.57%)	-6
2024年6月18日	5,134	30 (0.58%)	-31
2024年7月16日	5,098	30 (0.59%)	-6
2024年8月15日	5,043	30 (0.59%)	-25
2024年9月17日	5,021	30 (0.59%)	8
2024年10月15日	5,006	30 (0.60%)	15
2024年11月15日	4,984	30 (0.60%)	8
2024年12月16日	4,961	30 (0.60%)	7
2025年1月15日	4,914	30 (0.61%)	-17
2025年2月18日	4,869	30 (0.61%)	-15
2025年3月17日	4,797	30 (0.62%)	-42

(注) 2024年4月15日の直前の分配落日(2024年3月15日)における1口当たり純資産価格は、5,295円でした。

豪ドルクラス

(金額:豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2024年4月15日	5.62	0.03 (0.53%)	-0.02
2024年5月15日	5.61	0.03 (0.53%)	0.02
2024年6月18日	5.57	0.03 (0.54%)	-0.01
2024年7月16日	5.55	0.03 (0.54%)	0.01
2024年8月15日	5.51	0.03 (0.54%)	-0.01
2024年9月17日	5.50	0.03 (0.54%)	0.02
2024年10月15日	5.51	0.03 (0.54%)	0.04
2024年11月15日	5.50	0.03 (0.54%)	0.02
2024年12月16日	5.50	0.03 (0.54%)	0.03
2025年1月15日	5.48	0.03 (0.54%)	0.01
2025年2月18日	5.44	0.03 (0.55%)	-0.01
2025年3月17日	5.38	0.03 (0.55%)	-0.03

(注) 2024年4月15日の直前の分配落日(2024年3月15日)における1口当たり純資産価格は、5.67豪ドルでした。

今後の運用方針

<ファンド>

ファンドは今後も、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することを目的として運用を行います。

今後もファンドは運用方針に従い、マスター・ファンドへの投資を高位に保ちます。

<マスター・ファンド>

マスター・ファンドは、その投資方針に基づき、引き続き、主としてバンクローンに投資することで、長期のトータル・リターンの獲得を目指して運用を行います。

バンクローン市場は、1桁台後半の利回りでの収益率獲得の可能性があり、株式や他のボラティリティの高いオルタナティブ投資と比べて、引き続き魅力的な投資先となっています。昨年来の金利上昇と収益鈍化によるファンダメンタルな逆風にもかかわらず、8%近い利回りは引き続き需要を支えと考えます。現在のスプレッド水準はインプライド・デフォルト・リスクを上回るプレミアムを提供しており、今後もその水準が維持されと考えます。

CLOおよびミューチュアル・ファンドからのローン需要は非常に強く、バンクローン市場の需給環境を引き続き支えるため、ポジショニングに関しては、安定したキャリーが期待できるクレジットオリティが高いBB格を継続保有します。また、金利の低下が金利負担の軽減に影響が大きいと思われることから、一部のシングルB格もトータルリターン獲得の可能性があると考え、継続保有します。

マスター・ファンドは、主にキャリーを重視しつつ、問題のある銘柄を避けて保有することで、アウトパフォームを目指します。また、消費者セクターのオーバーウエイトを維持する一方、資本財、通信など一部セクターに対しては引き続き慎重な見方を継続します。

お知らせ

該当事項はありません。

ファンドの概要

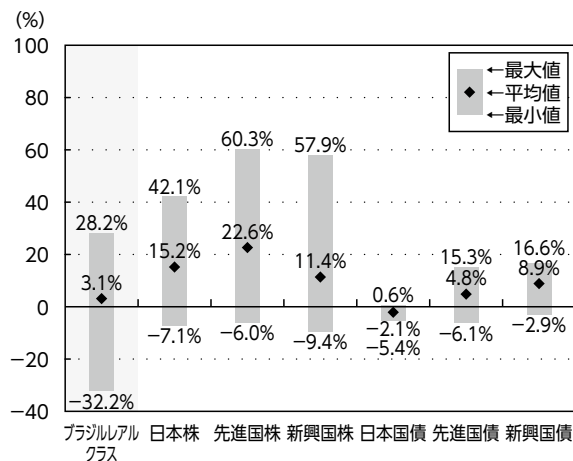
ファンド形態	ケイマン籍オープン・エンド契約型公募外国投資信託
信託期間	設立日(2013年2月8日)から150年目の14日前まで
運用方針	ファンドの投資目的は、主としてバンクローンから成るポートフォリオを通じて、長期のトータル・リターンを受益者に提供することを追求することです。ポートフォリオは分散投資が図られ、全般的なポートフォリオ・リスクを管理しかつ制限することが企図されています。WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型)は、ファンドと一致する投資目的を有しています。
主要投資対象	通常の市況において、ファンドは、実質的にすべての資産をマスター・ファンドに投資します。ただし、クラス固有の為替取引のための証拠金、またはその他の目的のためにファンドが利用する資産はこの限りではありません。通常の市況において、マスター・ファンドは、自己の純資産の大部分をバンクローンに投資することを目指すものとします。バンクローンとは、消費者または事業体が銀行またはその他の営利的貸し手から提供を受ける信用供与をいいます。バンクローンには、ターム・ローンおよびリボルビング・ローン、固定金利または変動金利、ならびに優先ローンまたは劣後ローン等があります。マスター・ファンドによるバンクローンへの投資は、直接または間接的に行われます。マスター・ファンドは、バンクローンに関連する価値を有する他の証券または商品を購入または売却することにより、バンクローンに対するエクスポージャーを得ることもできます。
ファンドの運用方法	ファンドは、そのすべてまたは実質的にすべての投資に利用可能な資産を(1)マスター・ファンドの受益証券および(2)各通貨クラスのために実施する特定の通貨の為替取引ポジションを組み合わせることで投資します。
投資制限	(1)ファンドまたはマスター・ファンドに関して空売りされる証券の時価総額は、いずれの時点においても、ファンドまたはマスター・ファンドの純資産価額をそれぞれ超えないものとします。 (2)借入れは、その結果として、未払の借入総額がファンドまたはマスター・ファンド(該当する方)の純資産価額の10%を超えることになる場合に禁止されます。ただし、合併など臨時の緊急事態にある場合は、かかる10%の制限を一時的に超えることができます。 (3)ファンドおよびマスター・ファンドは、その取得を行った結果として、ファンド、マスター・ファンドおよび管理会社により運用されるすべてのミューチュアル・ファンドが保有する株式の議決権総数が、1つの会社の株式の議決権の50%を上回る場合は、かかる会社の株式を取得しません。かかる制限は、その他の投資ファンドに対する投資(ファンドによるマスター・ファンドへの投資を含みます。)には適用されません。上記の比率は、購入の時点または現行の市場価格に基づいてのいずれかで算出できます。 (4)ファンドおよびマスター・ファンドは、日本証券業協会の外国証券取引に関する規則(その後の改正または改訂を含みます。)により要求される価格の透明性を確保する適切な措置が講じられない限り、その純資産価額の15%を超えて、私募証券、非上場証券または不動産などの容易に実現できない非流動資産に投資しません。上記の比率は、購入の時点または現行の市場価格に基づいてのいずれかで算出できます。
分配方針	管理会社は、その単独の裁量により、分配金の支払を行うことができます。 ファンドが利用可能な現金を有する限りにおいて、毎月15日(または当該日がファンド営業日ではない場合は、翌ファンド営業日)である「分配日」において分配を行い、分配日の前日(当該日がファンド営業日ではない場合は、前ファンド営業日)である「基準日」において分配を宣言することが予定されています。

参考情報

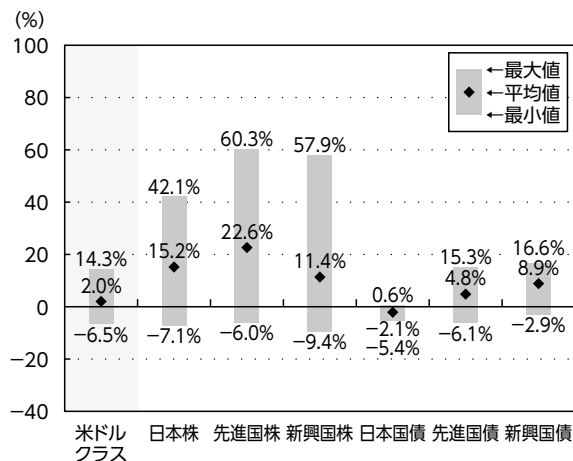
■ ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

2020年8月～2025年7月の5年間ににおける年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、ファンド(表示通貨ベース)と代表的な資産クラス(円ベース)との間で比較したものです。グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

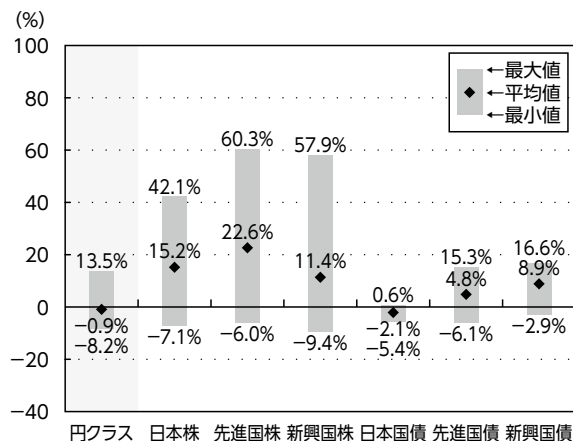
ブラジルリアルクラス



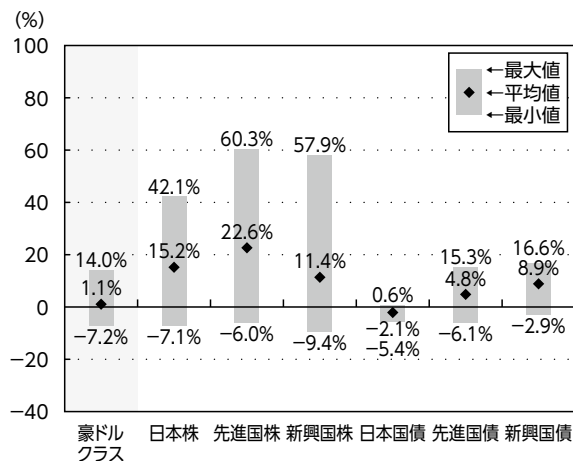
米ドルクラス



円クラス



豪ドルクラス



出所: Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所外国法共同事業が作成

※ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における分配金再投資1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。設定から1年未満の時点では算出されません。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、2020年8月～2025年7月の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率は、各受益証券の表示通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日 本 株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

ファンドのデータ

■ ファンドの組入資産の内容

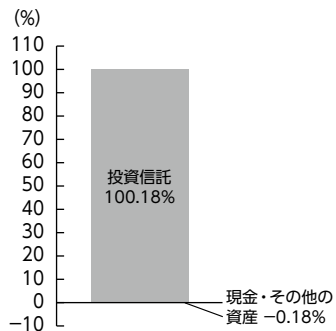
(第12期末現在)

● 組入上位資産(組入銘柄数: 1銘柄)

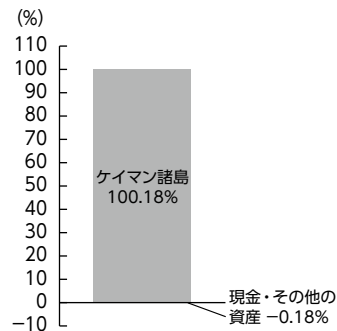
	銘柄名	組入比率(%)
1	WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型)	100.18

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下、円グラフも同じです。

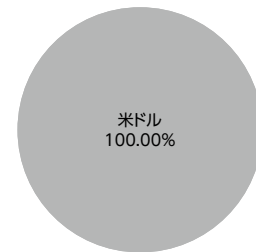
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注)組入比率は、運用報告書(全体版)に記載されている財務書類中の比率とは異なる場合があります。組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

■ 純資産等

クラス名	純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
ブラジルリアルクラス	353,951.98米ドル	288,395□	1.23米ドル
米ドルクラス	9,097,135.95米ドル	1,385,648□	6.57米ドル
円クラス	400,747,334円	83,040□	4,826円
豪ドルクラス	5,027,870.18豪ドル	928,357□	5.42豪ドル

クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
ブラジルリアルクラス	6,427□ (6,427□)	239,322□ (239,322□)	288,395□ (288,395□)
米ドルクラス	20,625□ (20,625□)	351,798□ (351,798□)	1,385,648□ (1,385,648□)
円クラス	690□ (690□)	21,525□ (21,525□)	83,040□ (83,040□)
豪ドルクラス	56,255□ (56,255□)	41,171□ (41,171□)	928,357□ (928,357□)

(注1) ()は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

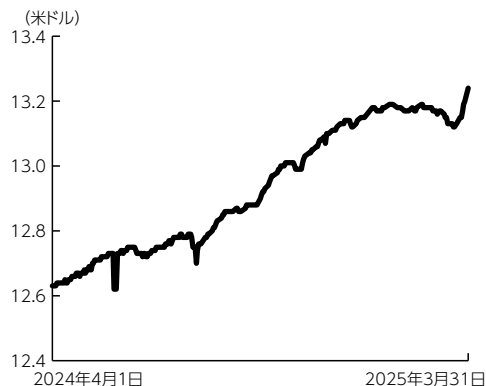
(注2) 上記の口数は、監査済の財務書類に基づく口数です。

■ マスター・ファンドの概要

(2024年4月1日～2025年3月31日)

WA バンクローン・マスター・ファンド(マルチ・カレンシー型)

● 1口当たり純資産価格の推移



● 保有上位10銘柄情報

(組入銘柄数: 169銘柄) (デリバティブ取引を含みます。)

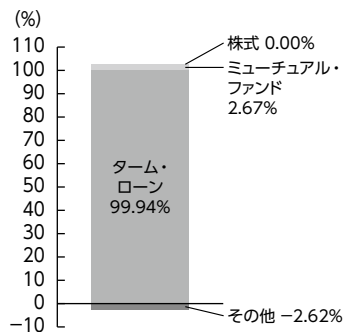
上位保有10銘柄		組入比率(%)
1	INVESCO SENIOR LOAN ETF	1.89
2	SPENCER SPIRIT IH LLC	1.64
3	INDY US HOLDCO LLC	1.63
4	ARDONAGH GROUP LTD	1.62
5	CLYDESDALE ACQUISITION	1.60
6	MODENA BUYER LLC	1.58
7	GROUNDWORKS LLC	1.35
8	FIVE STAR LOWER HOLDING	1.32
9	LIGHT & WONDER INTL INC	1.28
10	SEDGWICK CMS INC	1.27

● 費用の明細

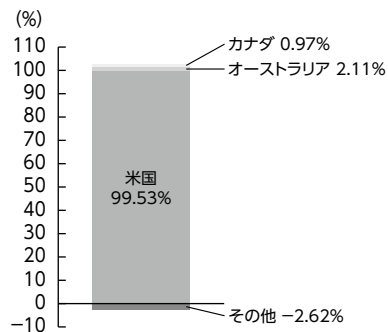
項目	項目の概要
管理会社報酬	管理会社としての業務につき、マスター・ファンドの純資産価額の 年率0.05% 投資運用業務につき、マスター・ファンドの純資産価額の 年率0.65%
受託会社報酬	マスター・ファンドの純資産価額の 年率0.01% (ただし、最低報酬年間15,000米ドル)
管理事務代行会社報酬	マスター・ファンドの純資産価額の 年率0.02%
米国保管報酬	マスター・ファンドの純資産価額の 年率0.005%
その他の費用	1.33%

(注)各報酬については、マスター・ファンドの目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額をマスター・ファンドの期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

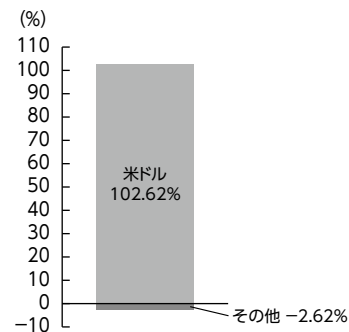
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 保有上位10銘柄情報ならびに資産別、国別および通貨別配分のデータは、2025年3月31日現在のものです。

(注2) 保有上位10銘柄情報ならびに資産別、国別および通貨別配分のデータは、マスター・ファンドの純資産総額に対する当該資産の比率を示しています。